

## 児童発達支援 事業所における自己評価結果（公表）

公表： 2024年 2月 9日

事業所名 こどもサポート教室「きらり」東加古川駅前事業所

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	○		・同時間帯に4支援になる時には個室も活用しながらスペースの区切りを相談して十分に使えるよう工夫しています。 また、限られたスペースではありますが、個々の特性に応じて、パーティションで仕切りながら刺激を調整しています。	市の規定に従って定めています。
	②	職員の配置数は適切である	○		シフト交代制を取り、日々適切な人員配置のもと、事業所の運営にあたっています。	
	③	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっている。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	○		事業所への来所に関しては建物の構造上、階段を使う必要がありますが、必要に応じて職員が対応させていただきます。また事業所内（支援室内）はパーティションで区切ってそれぞれの児の支援スペースを視覚的に示しています。	事業所の立地上階段を上がったの来所になるため、必要に応じては階段の上り下りなどに配慮した送迎の対応をしながら利用者様の負担軽減に努めています。
	④	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	○		毎日の掃除や定期的な整理整頓・玩具等の消毒をして、清潔な環境づくりに努めています。	
業務改善	⑤	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画している	○		日頃の支援での様子を共有することに加え、イベントにおいても、職員間でうまくできた点と次回以降に改善できそうな点について話し合っています。 また、毎月の1ON1で職員の目標設定や振り返りの場や、事業所としての目標設定も行っています。	
	⑥	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	○		毎年、保護者様へ事業所評価を配布し、回答頂いた内容を参考に改善に努めています。 また、保護者様からのご意見を真摯に受け止め、事業所運営の向上や業務改善に努めていきます。	

	⑦	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している	○		毎年 HP で公開をしています。	
	⑧	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている		○		
	⑨	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	○		<ul style="list-style-type: none"> <li>・法定研修、テーマ研修のほかにも事例検討や外部への研修にも積極的に参加しています。</li> <li>また、初任者研修、中途新人社員研修など段階に応じた研修にも参加しています。</li> <li>・コンプライアンスの遵守等、職員の資質向上に努めています。また、Zoom などの ICT も活用しています。</li> </ul>	
適切な支援の提供	⑩	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	○		日頃の支援でお子様、保護者様と話し、モニタリングやケース会議では指導員、児発管とも話し合い、その子にとって必要だと考えられることを計画として取り入れられるように共有しています。	
	⑪	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用している	○		アセスメントツールを使用しつつ子どもの状況把握に努めています。	
	⑫	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	○			
	⑬	児童発達支援計画に沿った支援が行われている	○		個別支援計画に沿ったプログラムを立てて支援を行っています。	
	⑭	活動プログラムの立案をチームで行っている	○		複数担当制のため、複数の指導員で話し合いをしながら子どもに合った個別療育・小集団療育（イベント）の活動内容を考えています。	
	⑮	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	○		積み重ねが必要なお子様の場合、一定期間同じ活動をするかもしれませんが、同じねらいで取り組むとしてもお子様にとって楽しいと感じられる活動を用意できるように工夫しています。	

				またお子様の成長に応じて内容を変更しながら工夫しています。	
	⑯	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成している	○		それぞれのお子様の状況に応じて必要な計画の作成を行っています。
	⑰	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	○		朝礼、終礼の時間を活用して実施しています。同時間帯の支援が重なっている場合には次の時間帯との入れ替わりの動きについても確認しています。
	⑱	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	○		朝礼、終礼の時間を使って気になった様子やいつもと違うと感じた様子、プログラムに対する反応などについて共有しています。
	⑲	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	○		支援後には必ず支援記録を作成し、指導員間でも情報を共有し療育内容の振り返りと改善に努めています。
	⑳	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	○		必ず6か月に1回はモニタリングを行い、子どもの状況に合わせて目標の見直し・改善の検討をしています。お子様の状況によっては、半年よりも短い期間でモニタリングと計画の見直しを行っています。
関係機関や保護者との連携	㉑	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	○		児発管・管理者・担当指導員のいずれかが複数で参加して、必ず事業所内で情報共有するように努めています。
	㉒	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている	○		必要に応じて行っています。
	㉓	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている	○		医療的ケアの必要な児の受け入れは行っていません。
	㉔	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている	○		医療的ケアの必要な児の受け入れは行っていません。
	㉕	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	○		園などとの直接の情報共有、相談員さんを介しての情報共有を行っています。

	②⑥	移行支援として、小学校や特別支援学校（小学部）との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	○		園などの直接の情報共有、相談員さんを介しての情報共有を行っています。	
	②⑦	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている		○	必要に応じて連携を取ります。	
	②⑧	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会がある	○		イベントを開催するときに、利用されているお子様のご兄弟やお友達もお誘いし、参加頂けるように準備しています。	
	②⑨	（自立支援）協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している	○		開催される機会があれば参加します。	
	③⑩	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	○		日々の療育の際に子どもの状況や課題などの情報共有の時間を設けています。時間が十分でない場合は保護者様と日程調整をしてじっくりお話ができる機会を設けられるように努めています。	
	③⑪	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）の支援を行っている	○		療育の中だけでなく、日々の生活の中でできることについて助言・話し合いができるように努めています。	
保護者への説明責任等	③⑫	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	○		契約時に一緒に書類を確認しながらお伝えしています。	
	③⑬	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	○		モニタリングと計画についてしっかり説明しています。その都度保護者様からの意見・同意を確認して計画を作成しています。	
	③⑭	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	○		日々の療育の際に子どもの状況や課題などの情報共有の時間を設けています。時間が十分でない場合は保護者様と日程調整をしてじっくりお話ができる機会を設けられるように努めています。	
	③⑮	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	○		不定期ではありますが、「きらりカフェ」「ママカフェ」「パパカフェ」と題して保護者様同士で意見交換できる場や一緒に学んでいく場を設けられるように努めています。	

	③⑥	子どもや保護者からの相談や申し入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申し入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	○		相談の申し入れがあった際には管理者・児発管につないで迅速に対応できる等に努めています。	
	③⑦	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	○		毎月事業所のブログを更新して行事や日ごろの活動内容が分かりやすいように情報発信できるように努めています。	
	③⑧	個人情報の取扱いに十分注意している	○		記録や書類・掲示物など名前や写真が多くの人目に触れないこと・紛失しないことを最重要に考え管理するように努めています。	
	③⑨	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	○		必要に応じて実物や写真・イラスト・文字などさまざまな情報ツールを活用しながら分かりやすい情報提供・コミュニケーションに努めています。	
	④⑩	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている		○		
非常時等の対応	④①	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	○		マニュアルを策定し、周知しています。	
	④②	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	○		月に1回防災訓練を実施し、災害に備えて話し合いを行っています。また数か月に一回はお子様にも参加して頂いています。	
	④③	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している	○		保護者様から詳しく説明を受け、職員間での対応法について周知を行っています。	
	④④	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	○		保護者様から詳しく説明を受け、職員間での対応法について周知を行っています。また、イベント等で食べ物を扱う場合は、必ずアレルギーの有無の確認を行っています。	
	④⑤	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	○		ヒヤリハットの作成だけでなく、再発防止策についても話し合いをしてけがや事故を未然に防げるように努めています。	
	④⑥	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	○		虐待防止委員会を設置し、月に一回は必ず職員間で話し合いを行っています。また、法定研修も全職員受講をしています。	

④7	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している	○		契約時に説明、同意を頂き個別支援計画にも記載しています。	
----	--	---	--	------------------------------	--

○この「事業所における自己評価結果（公表）」は、事業所全体で行った自己評価です。

## 児童発達支援 保護者等からの事業所評価の集計結果（公表）

公表：2024年 2月 9日

事業所名：こどもサポート教室「きらり」東加古川駅前

保護者等数(児童数)：29 回収数：29 割合：100%

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・体制整備	①	子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	25	4	0	0	その時々に応じて仕切りで区切ってスペースを確保されている。小集団活動の際、少し狭く感じる。	イベント等、同時間に集団での受け入れを行う場合は、スペースを確保できるように工夫をしています。
	②	職員の配置数や専門性は適切であるか	26	0	0	3		
	③	生活空間は、本人にわかりやすい構造化された環境になっているか。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	26	1	0	2	子どもにもわかりやすくなっている。	パーティションで空間を区切ってわかりやすく工夫をしています。
	④	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境となっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	28	1	0	0	入室してすぐに手を洗っている。	毎日の清掃と月に一回は大掃除を行い、清潔で心地よく過ごせる環境づくりに努めています。
適切な支援の提供	⑤	子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画が作成されているか	29	0	0	0	本人の状況と面談でのニーズから計画を立案されている。	
	⑥	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	26	0	0	3		
	⑦	児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	29	0	0	0		
	⑧	活動プログラムが固定化しないよう工夫されているか	28	1	0	0	様々な支援を行ってもらっている。本人の好みも入れつつ、固定化しないように毎回変更されている。	固定化がされないように工夫をしていますが、積み重ねが必要な場合は固定化されることもあります。
	⑨	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	10	4	2	13		
保護	⑩	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	28	0	0	1		契約時にご説明をさせていただいています。

者への説明等	⑪	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされたか	28	0	0	1		
	⑫	保護者に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）が行われているか	26	0	0	3	定期的にママカフェ、パパカフェを開催しています。	
	⑬	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができているか	29	0	0	0	帰りに子どもが出てくる前に今日の様子を話して下さるので、ありがたい。	支援後は必ず振り返りを行い、支援の様子をお話させていただいています。また、必要に応じて相談支援も実施していますので、いつでもご相談ください。
	⑭	定期的に、保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	27	0	0	2		
	⑮	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	17	3	1	8		
	⑯	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されているか	25	1	0	3	利用期間が浅いため、分かりません。	気になることがあればいつでもご相談ください。
	⑰	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	28	0	0	1	情報交換をする際に、子との物理的な距離が近すぎると（特に良くない話の場合）子に聞こえているかもしれないと思うことはある。	
	⑱	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されているか	27	1	0	1	事前に説明がある。	
	⑲	個人情報の取扱いに十分注意されているか	28	0	0	1		
非常時等の対応	⑳	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、保護者に周知・説明されているか。また、発生を想定した訓練が実施されているか	26	1	0	2		玄関にマニュアルを置いています。
	㉑	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	24	1	0	4		毎月防災訓練を実施しています。防災訓練の年間スケジュールを玄関に掲示しています。
	㉒	子どもは通所を楽しみにしているか	28	1	0	0	・自ら先導して通所している。	



満足度						<ul style="list-style-type: none"> <li>・まだ自分の気持ちを伝えるのが苦手なため。</li> <li>・きりりさんに行くことを告げると、ニコニコ笑顔でイエイ、イエーイと喜んでいるので私もうれしくなる</li> <li>・通い始めてから1年ですが、ずっとどんな場所へ行くより、一番行きたい場所のようです。</li> <li>・家を出るときはどこに行くのかわかっていませんが、2Fにあがる階段を見つけると嬉しそうに急いで上がって行きます。</li> <li>・通所日以外に「いきたい」というほど楽しみにしている。</li> <li>・毎回とても楽しみにしていて、楽しんでかえってきている。</li> <li>・いつも家で「きりりいきたい」と言っています。・朝から、「今日はきりりある？」と言って楽しみにしています。</li> </ul>	
	⑳ 事業所の支援に満足しているか	29	0	0	0	<ul style="list-style-type: none"> <li>・発語も増え、座れる時間も増えたので成果を実感する。</li> <li>・個別なので子どものことをよく見てもらえていると思う。</li> <li>・いつもありがとうございます。</li> </ul>	

○この「保護者等からの事業所評価の集計結果（公表）」は、保護者等の皆様に「保護者等向け児童発達支援評価表」により事業所の評価を行っていただき、その結果を集計したものです。